

とりまとめコメント

事業名 労働時間等の設定改善の促進等を通じた仕事と生活の調和対策 推進事業

労働者の健康で充実した生活の実現等を図るためには、生産性の向上を通じた労働時間の削減や、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら働き続けることが出来る休息時間の確保が重要であり、これらに向けた企業の取組を促進する本事業の必要性は認められる。

一方、助成金の支給見込件数と実際の支給件数との乖離が甚だしいコースが複数ある。その理由を検証した上で、乖離の縮小を図るべきである。その際、見込みより実績が著しく少ないコースについては、見込みの適正さに関する検証を前提に、例えば、取組に向けた初動段階での助成や、助成要件の見直しなど、より使い勝手の良いものにしていくことや、より積極的な周知を図る必要がある。

また、助成額についても、適正なものになっているのか検証が必要である。

このような形で、支給件数と助成額の両方をそれぞれ適正に見込んだ上で、予算を要求する必要がある。

助成を受けた企業の取組状況に関する指標については、労働時間の短縮などの成果を確認・把握できるものとする必要がある。その際、労働者の健康の確保や、Well-being の視点を踏まえることも必要である。